

倉吉市未来いきいき創生本部の設置について

1. 背景

- これまで本市においては、人口減少・少子化を切実なものとして受け止め、その対策として各種施策に取り組んできている。
- 民間研究機関「日本創成会議」分科会が今年5月に「消滅自治体リスト」を公表し、全国的に人口問題への取り組みの機運が高まっている。
- 国においては、9月12日に、内閣総理大臣を本部長、地方創生担当大臣と内閣官房長官を副本部長とする「まち・ひと・しごと創生本部」（創生本部）を設置し、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指すこととしている。
- これまでの国家戦略事業は国が一定のスキームを示し、地方はその範疇で横並びの施策展開をしてきたが、“地方創生”に関しては国からの道しるべは示されることはない。
9月20日の講演会で石破地方創生担当相は「『うちの町をこうしたいんだ』というアイデアは、霞が関では考えられない。知恵と熱意のあるところには、国は全面的にお応えいたします。」と述べられている。
- これまで本市が取り組んできた定住促進策や子育て支援策、市のイメージアップにつながるPRなどを大きな柱としながら、新たな施策や国と連動した施策の検討を行うとともに、全庁的・横断的な組織を立ち上げ、取り組みの強化を図る必要がある。

2. 組織の名称

倉吉市未来いきいき創生本部

3. 設置時期

平成26年10月

4. 体制

(1) 本部

本部長	市長
副本部長	副市長
常任委員会	企画審議会メンバー
本部員	市役所内全ての課長級以上の職員

(2) 部会

本部会議に付すべき事案を検討及び調整するため、必要に応じて部会を設置する。
部会 部会長及び部員は本部長が任命する者をもって構成する。
部会長は部会を招集し、その議長となる。

(3) 事務局

本部：総合政策課 部会：部会長が指定する課

5. 検討事項

- (1) 人口減少に関する情報収集・分析に関すること。
- (2) 人口減少対策（自然減・社会減）の横断的、総合的な視点での検討に関すること。
- (3) 関係機関等との連絡調整に関すること。

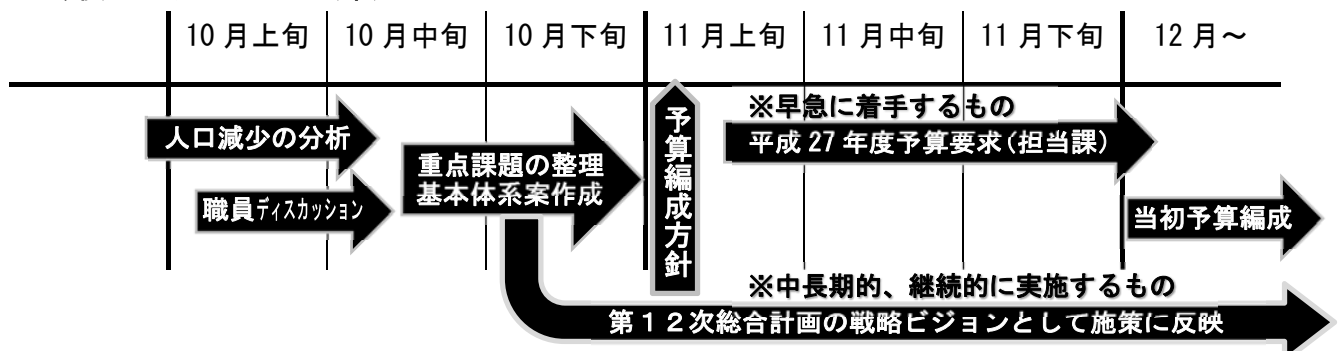
- 人口推計と人口減少による影響・分析
- 人口減少抑制策として想定項目
 - ・ 人口減少対策の目標設定とその戦略づくり
 - ・ 若者の定住支援（20～39歳の女性の定住支援）
 - ・ 県外からの移住定住支援
 - ・ 雇用の場の確保
 - ・ 子育て支援（保育・保健・医療・労働）
 - ・ シティセールス（観光・文化・特産品・都市基盤等）
 - ・ 定住促進のための税制支援
 - ・ 定住促進のための教育環境の整備
- 適正規模に対応した行政としての想定項目
 - ・ 弱体化するコミュニティの強化策
 - ・ 税収減に伴う公共サービスの維持
 - ・ 公共施設・インフラの適正配置と維持管理
 - ・ 行政のパートナーとなる地域活動団体の育成強化
 - ・ 地域づくりの担い手となる人材育成
 - ・ 学校の活性化、教育水準の維持向上
 - ・ 地域から頼られる市役所職員の配置
 - ・ 元気な高齢者づくり支援
 - ・ 世帯数減少に伴う空き家対策
- 国の戦略・予算との連携

6. 検討内容の活用

平成27年度予算、今後の国の施策との連携、市の各種計画への反映

- 国の今後の動き
 - ・ 9月29日 臨時国会召集、地域活性化などの関連法案提出
 - ・ 年末 創生本部が総合戦略などを策定、来年度予算案決定

7. 今後のスケジュール（案）



倉吉市の人口の推移(推計結果)

(単位:人)

年度	平成17 (実績)	平成22 (実績)	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	平成32 (目標年次)
すう勢型		51,364	50,943	50,522	50,101	49,680	49,260	48,790	48,320	47,850	47,380	46,912
実績値		51,364	50,891	50,484	50,145	49,730						
封鎖型		51,364	51,120	50,876	50,632	50,388	50,146	49,846	49,546	49,246	48,946	48,648
国立社会保障・人口問題 研	52,592	50,729	50,311	49,883	49,475	49,057	48,639	48,177	47,715	47,253	46,791	46,330

年度	平成33	平成34	平成35	平成36	平成37	平成38	平成39	平成40	平成41	平成42	平成43	平成44	平成45	平成46	平成47
すう勢型	46,415	45,918	45,421	44,924	44,425	43,738	43,051	42,364	41,677	40,992	40,437	39,882	39,327	38,772	38,215
実績値															
封鎖型	48,328	48,008	47,688	47,368	47,048	46,550	46,052	45,554	45,046	44,557	44,194	43,831	43,468	43,105	42,743
国立社会保障・人口問題 研	45,846	45,362	44,878	44,394	43,910	43,417	42,924	42,431	41,938	41,443	40,944	40,445	39,946	39,447	38,948

